事業者向け　放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	2	4	2	利用しているお子さん達の状態にあっているか考えてしまうこともある。
	2	職員の配置数は適切であるか	3	5		数字的には適切かもしれないが、支援的に人数が足りないと感じてしまうこともある。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	2	2	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	7	1		流れとしてはできていると感じているが、書式に記録をするなどの工夫が不十分であると感じている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7	1		保護者の方のご意見を充分聞くことができないと感じることが多い。次年度は個別支援計画作成の際、今までより保護者との面談の時間を多く設けたい。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7	1		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5	1	2	今年度感染症の関係で第三者の指導評価が行えなかったが、来年は例年通り行う予定である。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8			研修の機会はスタッフが積極的に参加しているため、今後も参加の機会を確保していく。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	1		出来る限り標準化されたアセスメントツールを基にお子さん達の課題や状況の理解に努めている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	3		標準化されたアセスメントツールの研修を受けてはいるが、適切に使用することに難しさを感じている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7	1		日々情報の共有について意識を高く持っているため、スタッフが一人だけの判断で支援について計画を立てることはない。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8			日々の打ち合わせの中で、利用するお子さんのための支援について皆積極的に意見をいう環境が出来つつある。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	4		長期休みはお子さんのいる時間が長く、準備が充分できない。なかなか時間をとる工夫がないことが現実である。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	1		集団での活動の充実の為、より学びを深めたい。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8			お子さん達が来園する前に、お子さんスタッフ一人ひとりのスケジュール短期目標を提示し、支援内容や役割を確認できるようにしている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7	1		より共通認識を持つために、どのように打ち合わせを行ったら良いか考えていきたい。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	3		正しい記録の取り方について学ぶ機会が少ない。記録の取り方の研修や書籍を積極的に探したい。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7	1		モニタリングの内容をスタッフ全員がより共有できるよう取り組んでいきたい。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	4	4		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	1		児童発達支援管理責任者だけでなく、実際現場で多く関わるスタッフも意見を取り入れたり、参加する場合もある。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	6	2		今回は感染症の件で、うまく学校と情報の共有が出来ず、不安に感じることがあった。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		5	3	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	4	1	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5	2	1	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	2	1	取り組んでいるプログラムについて、専門家からの研修を受ける機会は設けている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	3	2	
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	7	1		毎回参加をしており、今後も協議会の充実に向け積極的に参加していくつもりである。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7	1		送迎の際、出来る限り話はしている。どのようにお伝えすることが、保護者の方の納得がしやすい伝え方か常に模索している。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント･トレーニング等の支援を行っているか	4	1	3	考えてはいるものの、感染症もあり実行していない状況である。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	2		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7	1		相談がある場合は時間を設ける。また、こちらから声をかけさせていただく。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4	1	3	保護者からの要望もあり、今後の課題となっている。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	1		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	4		
	35	個人情報に十分注意しているか	8			秘密保持については、職員研修で確認しあう時間を設けている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8			努力はしているが、保護者様に伝える際に、どのように伝えるのか迷ってしまうこともある。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	1	3	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6	2		職員間では周知しているが、保護者の方に対しての発信が少ないと感じている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8			年2回は避難訓練を行っている。今後は様子等をHPなどでお伝えしていきたい。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5	3		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	3		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	3		その時のみで、なかなか共有することができないこともあるが、日々の引継ぎの内容は記録している。